

平成28年度一般会計決算

決算特別委 報告概要

9月12日開会の第3回北区議会定例会に上程された平成28年度一般会計決算は、10月10日の最終定例会で自由民主党議員団ほか他会派の賛成で可決しました。

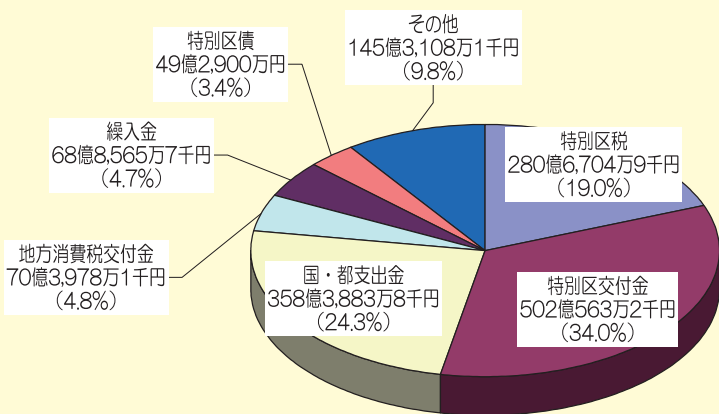
決算の概要は、「区民とともに」の基本姿勢のもと、少子高齢化への対応をはじめ、本格化するまちづくりの一層の推進、新庁舎の建設、公共施設の更新など喫緊の迅速な対応、「地域のきずなづくり」と「子育てファミリー層・若年層の定住化」の2つの最重要課題に積極的に取り組むため、3つの優先課題を中心に、新たな事業の構築やレベ

ルアップが図られています。

さらに、「北区版総合戦略」の5つの基本目標の実現に向けて、北区の魅力の発信や他都市との連携・交流の推進、女性・若者・高齢者の活躍を応援するための支援をしています。

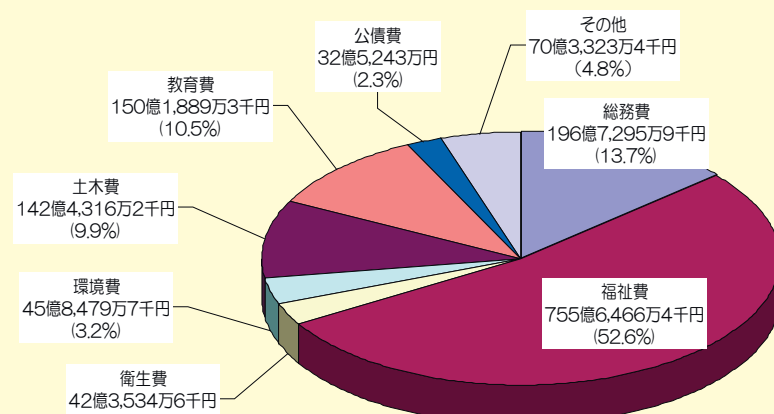
決算額は、歳入が1,474億9,703万8千円で前年度より16億2,655万7千円(1.1%)増。歳出は1,436億548万5千円となり、前年度より46億4,59万円(3.3%)の増となっています(図面参照)。

歳入総額 1,474億9,703万8千円 [収入率98.3%]



収入率・・・予算総額に対する収入済額の割合

歳出総額(目的別) 1,436億548万5千円 [執行率95.7%]



執行率・・・予算総額に対する支出済額の割合

平成28年度一般会計及び4特別会計決算に賛成

賛成討論 大沢たかし議員

【要旨】自由民主党議員団を代表して、平成28年度一般会計歳入歳出決算及び4特別会計決算案について賛成の立場で討論します。

自由民主党議員団が予算編成の段階において留意を求めた以下の5点。即ち①地域産業活性化のための創業支援策や融資制度の活用・改善を行うこと、②ファミリー層の定住化のための少子

化関連の対策を一層進めるとともに教育環境の充実を図ること、③高齢化が進む中でも医療・介護を初め地域と一体になり、元気で安心して活躍できる環境整備に努めること、④2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、国際化をはじめ、環境政策、PR政策、本格化するまちづくりの一層の推進を図ること、⑤税の公平性を維持するため、さらなる行財政改革の推進に努めること——などが色濃く反映され、前進していることには高く評価い

たします。

また、事業執行については、持続可能な行財政システムづくりのための改革を進める一方、各事業においては着実な成果を収め、今後、公共施設の更新など区政の課題を積極的に取り組み、また「北区経営改革プラン2015」に基づき、官民の役割分担による事業費の縮減、公共施設の再配置に取り組み、持続可能な行財政システムへの改革を強く求めるものである。

王子駅周辺まちづくり整備計画の策定

北区は、9月19日の北区議会建設委員会に「王子駅周辺まちづくり整備計画の策定」を示しました。

内容は、「王子駅周辺まちづくりグランドデザイン」の策定を受け、まず、まちの将来像の実現に向けて優先的に整備すべき「先行実施地区」の範囲を特定し、平成31年度を目途に具体的な事業手法等の整備計画を策定とするものです。

対象範囲は、「王子駅周辺まちづくりグランドデザイン」における王子駅周辺の3つのゾーンを基本とし

つつ、新庁舎の建設整備を含む駅前地区を中心に個別の都市計画や各種事業や施策を段階的に事業着手することになっています。

想定区域(図面参照)は、▷まちづくりガイドラインの想定区域(約50ヘクタール)、▷先行実施地区の特定区域(約10ヘクタール)で、今後は平成29年9月～11月に事業者の選定、29年度中に事業者の決定、平成31年度末に整備計画を決定する方針です。

